

県民の幸せな**みらい**、県勢発展のために皆様の声をお聞かせください

秋田県議会 会派会報

みらい

歳神様の目印に 門松

門松は樹木に宿る神様だと考えられ、松→祀るという語呂合わせから門に祀るものとして「門松」という呼名が生まれたといわれます。毎年元旦になるとその年の恵み、幸、豊作をもたらす五穀豊穡の神である「歳神様」が各家を訪れるとされ「お正月」はこの歳神様をお迎えするという行事。門松を目印にして迷うことなく歳神様が来ることができるよう飾ります。 ※諸説あります。

No. 2

主な内容

令和元年

9月・12月議会 要旨報告

討議資料

発行責任者／渡部 英治
編集責任者／東海林 洋

県民の幸せと県勢発展のため 本年も全力で頑張ります!

秋田県議会 産業観光委員
会派みらい 代表

渡部 英治

2020年の新春を迎え、皆様におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、令和2年は56年ぶりに東京オリンピックが開催される年であり、カヌー競技に続き一人でも多くの本県関係選手がオリンピック・パラリンピックというひのき舞台に立てることを願っております。

一方で本県をとりまく情勢に目を向けると、農産品と工業品の物品関税に関する新たな日米貿易協定が発行されたことに加え、米中の貿易

摩擦、消費税率の引上げに伴う影響、加えて人材不足など多くの不安定要因を抱えています。そして、依然として歯止めがかからない『人口減少問題』が最重要課題であることは言うまでもありません。

今こそ、本県の地域力を引き出し、若者が定着できる活性化に全力を傾注すべきであります。私たち「みらい」は、県議会第2会派として、県民の幸せと県勢発展のため、県民ニーズに合致した県民が納得できる県政運営が図られるよう、県政課題に果敢にチャレンジする覚悟であります。

本年も引き続きご指導、ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

9月議会

令和元年・第3回定例会
9月11日～10月8日

今回の補正予算は、秋田の魅力が際立つ、人・もの交流拡大戦略に係る事業など「第3期ふるさと秋田元気創造プラン」に基づく事業のほか、公共事業等について計上した。

9月補正予算の主な内容

●新東北デスティネーションキャンペーン推進事業 267万円

令和3年4～9月に開催されるデスティネーションキャンペーンに向け、東北6県等で構成する協議会の取組を推進する。

●重点市場におけるFIT誘客プロモーション事業 4,368万円

- ①台湾誘客促進事業 (588万円)、②タイ誘客促進事業 (918万円)、③中国・香港誘客促進事業 (1,518万円)、④●新東京オリ・パラを活用した誘客促進事業 (1,344万円)

東京オリンピック・パラリンピック期間における本県へのインバウンド誘客の拡大を図るため、オリンピック・パラリンピックの観戦チケット付き秋田泊旅行商品の造成を促進する。

●新東京オリ・パラ来訪者への東北誘客情報発信事業 (広域観光連携誘客促進事業) 705万円

東京オリンピック・パラリンピック期間に来日予定の外国人をターゲットに、東北地方への誘客を促進する。

令和元年度 一般会計 補正予算

7億1,385万円

補正後の規模 **5,850億 2,884万円**

●医療提供体制整備費補助事業 ... 1億7,054万円
救急医療、へき地医療等に要する設備整備を行う医療機関に対し助成する。

●総合周産期母子医療センター設備整備事業 1,093万円
安心して出産できる環境の整備を図るため、総合周産期母子医療センターの設備整備に対し助成する。

●地方独立行政法人秋田県立病院機構貸付事業 (特別会計) 11億 30万円
脳・循環器疾患の包括的な医療提供体制を構築するため、循環器・脳脊髄センターの既存棟大規模修繕工事に要する資金を貸し付ける。

●新高齢者施設等防災・減災対策等推進事業 636万円
高齢者施設が行う非常用自家発電設備の整備に対し助成する。

9月議会 一般質問



東海林 洋 [湯沢市・雄勝郡]

- ◆ イー・アショアについて
- ◆ 水産資源の徹底活用について
- ◆ 林業木材産業の振興について
- ◆ 農福連携について

鳥井 修 [秋田市]

- ◆ 知事の政治姿勢について
- ◆ 日本のエネルギー政策について
- ◆ 洋上風力発電の導入について
- ◆ 多様な連携によるインバウンド誘客の推進について
- ◆ 「秋田ポジティブキャンペーン」の実施について

9月議会 総括審査



土谷 勝悦 [横手市]

- ◆ イー・アショアについて
- ◆ 新屋への配備について
- ◆ 知事の姿勢について

佐藤 正一郎 [湯沢市・雄勝郡]

- ◆ イー・アショアの配備について
- ◆ 自殺予防対策について
- ◆ 新スタジアムの整備について

議会選出 秋田県監査委員

三浦 茂人 [秋田市]

事務や事業の管理などが適正に行われているか監査や審査等を実施

知事の指揮監督に服さず、知事から独立の立場で各種監査や審査等を実施します。(任期は議員任期)

予算特別委員会

渡部 英治 [大仙市・仙北郡]

予算議案及びその関連事項などを審査するため、議員全員をもって構成される特別委員会

設置期間/
令和元年5月13日～令和3年5月31日 渡部 英治 副委員長として議事進行

令和元年
10月17日～11月7日

決算特別委員会

一般会計および特別会計の
決算について審査

副委員長として委員会運営に
携わりました

副委員長
吉方清彦 [能代市・山本郡]



総括審査

鳥井 修 [秋田市]

- ◆「スポーツ立県あきた」の推進とスポーツによる交流人口の拡大について
- ・トップスポーツについて
- ・部活動について
- ・指導者育成について
- ・環境整備について



12月議会

令和元年・第3回定例会
11月26日～12月20日

今回の補正予算は、新時代を勝ち抜く攻めの農林水産戦略に係る事業など「第3期ふるさと秋田元気創造プラン」に基づく事業のほか、公共事業の発注を前倒しするための債務負担行為等について計上した。

12月補正予算の主な内容

- ◆ **新CSF等緊急防疫対策事業** …… **7,616万円**
CSF（豚コレラ）等の防疫対策として、農場周囲に野生イノシシ等侵入防止用の防護柵を設置する養豚経営体に対し助成する。
- ◆ **本社機能等移転促進事業** …… **2,199万円**
県外から本社機能等を移転する企業に対し移転等経費の一部を助成する。
- ◆ **医療提供体制整備費補助事業** …… **1,080万円**
がん診療連携拠点病院等が行う設備整備に対し助成する。
- ◆ **地域医療介護総合確保基金積立金** …… **23億1,596万円**
地域における医療・介護の充実を図るための事業に活用する基金の積み増しを行う。

令和元年度 一般会計 補正予算

27億 574万円

補正後の規模 **5,877億 3,459万円**

- ◆ **地方独立行政法人秋田県立病院機構支援事業** …… **3億1,987万円**
脳・循環器疾患の包括的な医療提供体制を構築するため、同機構が行う循環器・脳脊髄センターの既存棟大規模修繕工事に対し助成する。
- ◆ **特定医療費（指定難病）助成事業** …… **1億4,165万円**
指定難病に係る医療を確立・普及するとともに、患者の負担軽減を図るため、特定医療費（指定難病）を助成する。

12月議会 一般質問

三浦 英一 [由利本荘市]

- ◆ 令和2年度当初予算編成方針等について
- ◆ 働き方改革について
- ◆ 地方創生について
- ◆ 林業振興について



土谷 勝悦 [横手市]

- ◆ 第2期あきた未来総合戦略について
- ◆ 雄物川流域の防災対策について
- ◆ イージス・アショアについて



12月議会 総括審査

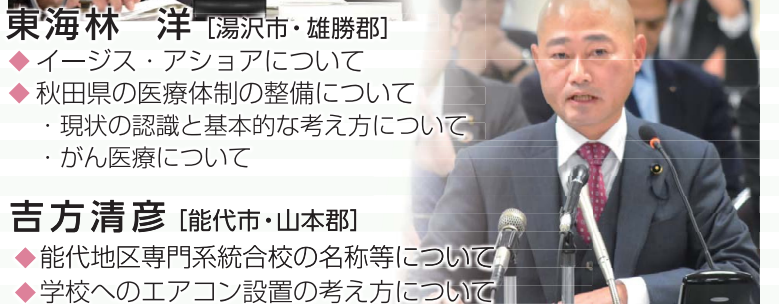
佐藤 正一郎 [湯沢市・雄勝郡]

- ◆ 県・市連携文化施設について
- ◆ スタジアム整備について



東海林 洋 [湯沢市・雄勝郡]

- ◆ イージス・アショアについて
- ◆ 秋田県の医療体制の整備について
 - ・現状の認識と基本的な考え方について
 - ・がん医療について



吉方清彦 [能代市・山本郡]

- ◆ 能代地区専門系統高校の名称等について
- ◆ 学校へのエアコン設置の考え方について

渡部英治の 県議会レポート



4車線化の早期実現について要望する渡部県議

今回は「道路整備等に関する国土交通省等との意見交換会・要望活動」と「企業誘致活動」について報告いたします。

道路整備等に関する国土交通省等との意見交換会・要望活動

令和元年11月13日、国土交通省道路局と東日本高速道路(株)の部・課長から「道路行政を取り巻く最近の情勢(道路関係予算他)」「高速道路の整備状況」についての講演を聴いた後、関係県議会との意見交換会が行われました。

その中で、秋田自動車道 大曲IC - 北上ICの4車線化事業決定に関して、地元の熱意と盛り上がりについて強調するとともに、暫定2車線区間の4車線化の早期実現を強く要望しました。

その後、佐藤副議長、北林議員と共に東日本高速道路(株)建設事業部と国土交通省道路局、そして県内関係国会議員に要望活動を行いました。



秋田県選出国会議員への要望活動



東日本高速道路(株)建設部長へ要望



大橋鉄工株式会社 視察 (愛知県名古屋市)

産業観光委員会 県外調査

令和元年11月22日、横手第2工業団地内に新会社を設立(平成29年2月に生産開始)している大橋鉄工(株)を視察し、大橋社長より秋田へ進出した理由やトヨタグループとの取引を核とした県内でのサプライチェーン(部品の調達・供給網)構築などについて説明を受けました。

「横手を選んだ決め手は?」という私の質問に対し、大橋社長は「災害の可能性が低いことや、インフラの整備状況、真面目でねばり強い人材などの要素もあるが、地元市長と知事が何度も足を運んでくれた事が大きい」と力説していました。

改めてトップセールスの重要性を認識したところであります。



大橋鉄工(株)の工場内を視察



大橋社長より会社概要の説明



大橋社長に質問する渡部県議